

# 「国際地域イノベーター人材養成プログラム」の概要

北海道教育大学函館校 地域協働推進センター  
人材養成プログラム部門長 金 鉉 善

## 【国際地域イノベーター人材養成プログラム（以下、「国プロ」）とは】

北海道教育大学函館校地域協働推進センター人材養成プログラム部門では、「地域協働専攻」「地域教育専攻」を超えて学べる専攻横断型オプションプログラムの開発を行っている。「国プロ」は、2018年度から実施している「HAKODATE コンシェルジュ養成プログラム」（以下、「函プロ」）の進化版として、多文化協働・共生を実質的に推進できる人材を養成するために、2021年度からスタートしたプログラムである。「国プロ」の人材養成では、以下の3つの能力を伸ばすことを目的としている。

- (a) 国際性を活かし異文化に対応できる力
- (b) 地域学に根差し地域の魅力を多様な側面から深掘りできる力
- (c) 地域の課題をグローバルな視点で多角的に捉え、共生・協働を主導していく力

すなわち、「国プロ」では、道南地域の観光や教育の面に焦点を当てた「函プロ」をさらに発展させ、専攻やグループの垣根を超えて学べる機会を提供することで、国際的な視点で地域と共に成長していく人材を養成することを目指している。

## 【「国プロ」のカリキュラム構成】

「国プロ」は、「函プロ」の既存科目をベースに、「国プロ」に特化した4つの科目を新規開設している。なお、この新規開設科目は、すべてクォーター制であり、留学やインターシップへの参加を積極的に推奨するなど、卒業後の進路設計において、より多様な選択肢を与えている。

「国プロ」は、「基盤科目」「共通科目」「専攻科目」の3つの科目群に分かれており、最終的に本プログラムを修了したと認定されるためには、それぞれの科目群から必要な単位数を取得しなければならない。それぞれの科目群から受講し、また学年を上げていく中で、知識学習など基礎知識の習得中心から、演習中心へと移行・発展する（図1を参照）。

## 【「国プロ」の実施状況】

「国プロ」の実施状況を見ると、2021年度は141名（新入生291名）が、2022年度は102名（新入生296名）が受講しており、「国プロ」に対する学生からの期待は実施当初から非常に高いことがうかがえる。「国プロ」の受講生が地域の中で学びを深め、国際的な視点で地域とともに成長していく人材になることを願い、本プログラムの内容充実に向けていきたい。



図1